

静岡県介護支援専門員キャリアラダー（評価表）

氏名:

事業所名:

評価日:

年 月 日

レベル: I・II・III・IV・V

※評価基準 5点(100%できる) 4点(80%以上できる) 3点(60%以上できる) 2点(40%以上できる) 1点(20%以上できる) 0点(20%未満) ※すべての大項目の平均点が3点以上で、そのレベルは到達とします

大項目	中項目	小項目	レベルⅠ		レベルⅡ		レベルⅢ		レベルⅣ		レベルⅤ		出典/用語の定義
			自己評価	他者評価	自己評価	他者評価	自己評価	他者評価	自己評価	他者評価	自己評価	他者評価	
1 社会保障制度の知識	1 社会の変動・将来予測	1 人口変動と社会保障制度の理解	1		86		171		256		341		(長)基本-第1編第2章第1節・第2編第1章第1節
		2 地域包括ケアシステムの理解	2		87		172		257		342		(日)専Ⅰ-第2章第1節 (日)専Ⅱ-第1章第2節
		3 地域共生社会の理解	3		88		173		258		343		(日)専Ⅱ-第1章第2節 (日)主任-第1章第1節
	2 介護の社会化	1 介護保険制度の基本理念の理解	4		89		174		259		344		(長)基本-第2編第2章第1節
		2 介護保険サービスの理解	5		90		175		260		345		(長)基本-第1章～第5章
		3 介護保険制度の最新動向の理解	6		91		176		261		346		(日)専Ⅰ-第2章第1節 (日)専Ⅱ-第1章第1節
		4 社会資源の活用	7		92		177		262		347		(日)専Ⅰ-第6章-6 (日)専Ⅱ-第1章第4節
	3 高齢者・障がい者の生活ニーズ・支援	1 医療保険制度の理解	8		93		178		263		348		(日)専Ⅰ-第6章-6
		2 成年後見制度・日常生活自立支援事業の理解	9		94		179		264		349		(日)・専Ⅰ-第6章-6
		3 生活保護制度・所得保障制度の理解	10		95		180		265		350		(日)専Ⅰ-第6章-6
		4 障害者施策の理解	11		96		181		266		351		(日)専Ⅰ-第6章-6
平均点			#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####		

静岡県介護支援専門員キャリアラダー（評価表）

氏名: \_\_\_\_\_

事業所名: \_\_\_\_\_

評価日: \_\_\_\_\_

年 月 日

レベル: I・II・III・IV・V

※評価基準 5点(100%できる) 4点(80%以上できる) 3点(60%以上できる) 2点(40%以上できる) 1点(20%以上できる) 0点(20%未満) ※すべての大項目の平均点が3点以上で、そのレベルは到達とします

大項目	中項目	小項目	レベルⅠ		レベルⅡ		レベルⅢ		レベルⅣ		レベルⅤ		出典/用語の定義				
			自己評価	他者評価	自己評価	他者評価	自己評価	他者評価	自己評価	他者評価	自己評価	他者評価					
2 対人援助技術	1 コミュニケーション力	1 話を聴く力	指導を受けながら相手の話を聴くことができる	12		相手の話を聴くことができる		相手の話を十分に聴くことができる		相手の話を聴くことができるように、事業所内の介護支援専門員に指導できる	267		相手の話を聴くことができるように、地域の介護支援専門員に指導できる	352		(長)実務上-第3章第2節	
		2 質問する力	指導を受けながら、質問することができる	13		必要な情報について質問することができる		相手の気づきを得られるような質問を行うことができる		質問する力を高められるように、事業所内の介護支援専門員に指導できる	268		質問する力を高められるように、地域の介護支援専門員に指導できる	353		(長)実務上-第3章第2節	
		3 非言語的コミュニケーションの意識化	指導を受けながら、非言語的コミュニケーションを意識してコミュニケーションを行うことができる	14		非言語的コミュニケーションを意識してコミュニケーションを行うことができる		非言語的コミュニケーションを意識して適切にコミュニケーションを行うことができる		非言語的コミュニケーションを意識したコミュニケーションについて、事業所内の介護支援専門員に指導できる	269		非言語的コミュニケーションを意識したコミュニケーションについて、地域の介護支援専門員に指導できる	354		(長)実務上-第3章第2節	
	2 む 伝える力(プレゼンテーション力含)	1 伝えたいことを明確に話す	指導を受けながら、伝えたいことを明確に話すことができる	15		伝えたいことを明確に話すことができる		伝えたいことを明確にして、適切に話すことができる		伝えたいことを明確に話せるように、事業所内の介護支援専門員に指導できる	270		伝えたいことを明確に話せるように、地域の介護支援専門員に指導できる	355		(長)実務上-第3章第2節	
		2 資料の作成	指導を受けながら、視覚で理解できる資料を作成することができる	16		視覚で理解できる資料を作成することができる		視覚で理解できる十分な資料を作成することができる		視覚で理解できる資料の作成について、事業所内の介護支援専門員に指導できる	271		視覚で理解できる資料の作成について地域の介護支援専門員に指導できる	356		(長)実務上-第3章第2節	
		3 聞き手を意識しながら時間内に話す	指導を受けながら、聞き手を意識して時間内に話すことができる	17		聞き手を意識しながら時間内に話すことができる		聞き手を意識しながら時間内で適切に話すことができる		聞き手を意識しながら時間内に話せるように、事業所内の介護支援専門員に指導できる	272		聞き手を意識しながら時間内に話せるように、地域の介護支援専門員に指導できる	357		(長)実務上-第3章第2節	
	3 相談面接力	1 バイステックの原則の理解	指導を受けながら、バイステックの原則を理解することができる。	18		バイステックの原則を意識して、相談面接を行うことができる		バイステックの原則を意識して、適切に相談面接を行うことができる		バイステックの原則を意識した相談面接について、事業所内の介護支援専門員に指導できる	273		バイステックの原則を意識した相談面接について、地域の介護支援専門員に指導できる	358		(日)専I-第3章第2節	
		2 傾聴・受容・共感	指導を受けて相談面接における傾聴・受容・共感の意味を理解することができる	19		傾聴・受容・共感の意味を理解して、相談面接を行うことができる		傾聴・受容・共感の意味を理解して、適切に相談面接を行うことができる		相談面接における傾聴・受容・共感の意味について、事業所内の介護支援専門員に指導できる	274		相談面接における傾聴・受容・共感の意味について地域の介護支援専門員に指導できる	359		(長)実務上-第3章第2節	
		3 意図的な面接技術	指導を受けて相談面接における面接技術の内容を理解することができる	0		相談面接において、面接技術を使うことができる		相談面接において、適切に面接技術を使うことができる		相談面接における面接技術について、事業所内の介護支援専門員に指導できる	275		相談面接における面接技術について地域の介護支援専門員に指導できる	360		(日)専I-第3章第2節	
		4 面接におけるポジショニング	指導を受けながら面接におけるポジショニングの意味を理解することができる	21		面接におけるポジショニングの意味を理解することができる		相談面接においてポジショニングを意識して面接できる		面接におけるポジショニングについて、事業所内の介護支援専門員に指導できる	276		面接におけるポジショニングについて地域の介護支援専門員に指導できる	361		(日)専I-第3章第2節 ※ポジショニング～面接者の位置取り	
	平均点			#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####			

静岡県介護支援専門員キャリアラダー（評価表）

氏名:

事業所名:

評価日:

年 月 日

レベル: I・II・III・IV・V

※評価基準 5点(100%できる) 4点(80%以上できる) 3点(60%以上できる) 2点(40%以上できる) 1点(20%以上できる) 0点(20%未満) ※すべての大項目の平均点が3点以上で、そのレベルは到達とします

大項目	中項目	小項目	レベル I	自己評価	他者評価	レベル II	自己評価	他者評価	レベル III	自己評価	他者評価	レベル IV	自己評価	他者評価	レベル V	自己評価	他者評価	出典/用語の定義
3	ケアマネジメント実践力	1 アセスメント能力	1 アセスメントの目的や方法の理解	22		107			192			277			362			(長)実務上-第6章第2節・第7-②章第1節
			2 アセスメントにおける情報収集の内容の理解	23		108			193			278			363			(長)実務上-第7-②章・第2節・第6節
		3 アセスメントからニーズや課題を導き出す技術の習得	24		109				194			279			364			(長)実務上-第7-②章・第1節・第3節
		4 利用者・家族の要望や意向の確認	25		110				195			280			365			(長)実務上-第7-②章・第5節
		5 状態の維持・改善・悪化の可能性の予測	26		111				196			281			366			(長)実務上-第7-②章全体・第7-②章・第7節
		6 介護支援専門員としての専門的な判断の根拠を説明できる	27		112				197			282			367			(長)実務上-第7-②章全体
	2 ブランニング能力	1 サービス計画の意義と目的の理解	1 サービス計画の意義と目的の理解	28		113			198			283			368			(長)実務上-第7-③章・第1節
			2 サービス計画等の様式における記載の目的の理解	29		114			199			284			369			(長)実務上-第6章・第2節資料・第7-③章・第2節
		3 生活目標に応じたサービスの提供	30		115			200			285			370			(長)実務上-第7-②章・第5節	
		4 課題解決に向けた目標設定と自立を目指したサービス計画の作成	31		116			201			286			371			(長)実務上-第7-②③章全体	
	3 サービス担当者会議の実践技術	1 サービス担当者会議の意義と目的、チームアプローチの重要性の理解	1 サービス担当者会議の意義と目的、チームアプローチの重要性の理解	32		117			202			287			372			(長)実務上-第7-④章第1節・第2節
			2 サービス担当者会議の開催準備及び会議の進行ができる	33		118			203			288			373			(長)実務上-第7-④章第3節・第5節・第7節
	4 モニタリング能力	1 モニタリングの意義と目的、手法の理解	1 モニタリングの意義と目的、手法の理解	34		119			204			289			374			(長)実務上-第7-②章第8節 第7-⑤章第1節・第2節
			2 目標に対する各サービスの達成度(効果)の検証と評価	35		120			205			290			375			(長)実務上-第7-④章第4節・第6節 第7-⑤章第2節
		3 モニタリング結果の記録作成の意味と重要性の理解	3 モニタリング結果の記録作成の意味と重要性の理解	36		121			206			291			376			(長)実務上-第7-⑤章第4節
			4 サービス計画の再作成を行う方法と技術	37		122			207			292			377			(長)実務上-第7-⑤章第5節
	平均点			#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	

静岡県介護支援専門員キャリアラダー（評価表）

氏名:

事業所名:

評価日:

年 月 日

レベル: I・II・III・IV・V

※評価基準 5点(100%できる) 4点(80%以上できる) 3点(60%以上できる) 2点(40%以上できる) 1点(20%以上できる) 0点(20%未満) ※すべての大項目の平均点が3点以上で、そのレベルは到達とします

大項目	中項目	小項目	レベル I	自己評価	他者評価	レベル II	自己評価	他者評価	レベル III	自己評価	他者評価	レベル IV	自己評価	他者評価	レベル V	自己評価	他者評価	出典/用語の定義	
4	1	医療・看護の知識	1 疾患別の指導の視点	指導を受けながら疾患による予後予測ができる	38		疾患による予後予測ができる	123		疾患による予後予測ができ、他職種へ情報提供ができる	208		疾患による予後予測ができ事業所内の介護支援専門員にアドバイスができる	293		疾患による予後予測ができ指導内容を地域の介護支援専門員へ指導、研修を企画することができる	378		(長)実務下-第15章 (日)専Ⅱ-第5章 (日)主任-第7章第4節・第7章第2節
			2 疾患・障害別のリハビリテーション方法	要介護者の疾患を理解できる	39		疾患・障害に必要なリハビリテーションを要介護者へ説明できる	124		要介護者の疾患・障害に必要なリハビリテーションを理学療法士等と連携を図り説明できる	209		要介護者の疾患・障害に必要なリハビリテーションを理学療法士等と連携を図り説明できる。理学療法士等との連携方法を事業所内の介護支援専門員に指導ができる	294		要介護者の疾患・障害に必要なリハビリテーションを理学療法士等と連携を図り説明できる。理学療法士等との連携方法を地域の介護支援専門員に指導ができる	379		(日)専Ⅰ-第6章-1 (日)専Ⅱ-第2章-1
			3 介護予防の考え方や方法	介護予防方法を指導を受けながら説明できる	40		介護予防方法を根拠を持って説明・指導できる	125		介護予防方法をケースごとに組み立てることができる。常に介護予防、自立支援に立った視点でマネジメントしている	210		介護予防方法をケースごとに組み立てることができる。常に介護予防、自立支援に立った視点のマネジメントを事業所内の介護支援専門員に指導できる	295		介護予防方法をケースごとに組み立てることができる。常に介護予防、自立支援に立った視点のマネジメントを地域の介護支援専門員に指導できる	380		(長)実務上-第2章 (日)主任-第1章第1節
	2	医療・介護サービスとの連携と活用	1 在宅療養の継続支援	指導を受けながら、在宅療養の継続支援方法を提案できる	41		在宅療養の継続支援方法を提案できる	126		医療依存度が高い要介護者でも在宅療養の継続支援方法をマネジメントできる	211		在宅療養の継続支援方法を事業所内の介護支援専門員に指導ができる	296		在宅療養の継続支援方法を地域の介護支援専門員に指導できる	381		(日)専Ⅱ-第2章-2 (日)主任-第3章第1節
			2 在宅医療の体制づくり	在宅医療に必要な体制を指導を受けながら作ることができる	42		在宅医療に必要な体制を理解し、体制作りができる	127		在宅医療に必要な体制を理解し、処遇困難ケースでの体制づくりができる	212		在宅医療に必要な体制づくり方法を事業所内の介護支援専門員に指導できる	297		在宅医療に必要な体制づくりについて地域の介護支援専門員に指導できる	382		(日)主任-第7章第2節 (日)専Ⅱ-第2章-2
			3 利用者の望む生活の実現に向けたチームアプローチの意義と目的、方法が理解できる	指導を受けながら、利用者の望む生活の実現に向けたチームアプローチの意義と目的、方法が理解できる	43		利用者の望む生活の実現に向けたチームアプローチの意義と目的、方法が理解でき、実践できる	128		多問題を抱えた事例においても、利用者の望む生活の実現に向けたチームアプローチが実践できる	213		利用者の望む生活の実現に向けたチームアプローチの意義と目的、方法について、事業所内の介護支援専門員に指導できる	298		利用者の望む生活の実現に向けたチームアプローチの意義と目的、方法について、地域の介護支援専門員に指導できる	383		(長)実務上-第8章
	3	コーディネート能力	1 コーディネート力の理解	指導を受けながら、コーディネート力の必要性を理解できる	44		コーディネート力の必要性を理解できる	129		コーディネート力の必要性を十分に理解できる	214		コーディネート力について、事業所内の介護支援専門員に指導できる	299		コーディネート力について、地域の介護支援専門員に指導できる	384		(長)実務上-第9章第3節-第5節 ※コーディネート～各機関を調整して全体がうまくいくように整えること
			2 コーディネート力の活用	指導を受けながら、コーディネート力を活用できる	45		コーディネート力を活用できる	130		コーディネート力を適切に活用できる	215		コーディネート力の活用について、事業所内の介護支援専門員に指導できる	300		コーディネート力の活用について、地域の介護支援専門員に指導できる	385		(長)実務上-第9章第3節-第5節
	4	カネゴシエーション能力	1 利用者・家族間とのネゴシエーション(交渉)能力	指導を受けながら、利用者・家族間での意向の相違等の際にネゴシエーション(交渉)の必要性を理解できる	46		利用者・家族間での意向の相違等の際にネゴシエーション(交渉)を実践できる	131		利用者・家族間での意向の相違等の際にネゴシエーション(交渉)を適切に実践できる	216		利用者・家族間での意向の相違等の際のネゴシエーション(交渉)力について、事業所内の介護支援専門員に指導できる	301		利用者・家族間での意向の相違等の際のネゴシエーション(交渉)力について、地域の介護支援専門員に指導できる	386		(日)専Ⅰ-第6章-⑤ ※ネゴシエーション～交渉(相手と取り決めるために話し合う)、折衝
			2 フォーマルサービス・インフォーマルサービス間とのネゴシエーション(交渉)能力	指導を受けながら、フォーマルサービス・インフォーマルサービス間とのネゴシエーション(交渉)の必要性を理解できる	47		フォーマルサービス・インフォーマルサービス間とのネゴシエーション(交渉)を実践できる	132		フォーマルサービス・インフォーマルサービス間とのネゴシエーション(交渉)を適切に実践できる	217		フォーマルサービス・インフォーマルサービス間とのネゴシエーション(交渉)力について、事業所内の介護支援専門員に指導できる	302		フォーマルサービス・インフォーマルサービス間とのネゴシエーション(交渉)力について、地域内の介護支援専門員に指導できる	387		(長)実務上-第8章
	平均点				#####	#####		#####	#####		#####	#####		#####	#####		#####	#####	

静岡県介護支援専門員キャリアラダー（評価表）

氏名: \_\_\_\_\_

事業所名: \_\_\_\_\_

評価日: \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

レベル: I・II・III・IV・V

※評価基準 5点(100%できる) 4点(80%以上できる) 3点(60%以上できる) 2点(40%以上できる) 1点(20%以上できる) 0点(20%未満) ※すべての大項目の平均点が3点以上で、そのレベルは到達とします

大項目	中項目	小項目	レベルⅠ		レベルⅡ		レベルⅢ		レベルⅣ		レベルⅤ		出典/用語の定義						
			自己評価	他者評価	自己評価	他者評価	自己評価	他者評価	自己評価	他者評価	自己評価	他者評価							
5 省察的 思考力	1 経験の 意味づけ	1 自身の経験を振り返り 言語化できる	指導を受けながら、自 身の経験を振り返り言 語化できる	48		自身の経験を振り返り 言語化できる	133		自身の経験を振り返り 言語化し、実践に活か すことができる	218		自身の実践を振り返り 言語化する意義につい て、事業所内の介護支 援専門員に指導できる	303		自身の実践を振り返り 言語化する意義につい て地域の介護支援専門 員に指導できる	388		(日)専 I - 第1章第2節	
		2 自身の経験を事例とし てまとめる	指導を受けながら、自 身の経験を事例とし てまとめることができる	49		自身の経験を事例とし てまとめることができる	134		自身の経験を読み手が 理解できるように、事例 としてまとめることが できる	219		自身の経験を事例とし てまとめることができる ように、事業所内の介 護支援専門員に指導で きる	304		自身の経験を事例とし てまとめられるよう、地 域の介護支援専門員に 指導できる	389		(日)専 I - 第1章第2節	
	2 失敗に 学ぶ	1 失敗したことを振り返 り、課題を明確にす る	指導を受けながら、失 敗したことを振り返り、 課題を明確にすること ができる	50		失敗したことを振り返 り、課題を明確にし、言 語化することができる	135		失敗したことを十分に振 り返り、課題を明確に し、言語化することが できる	220		失敗したことを振り返 り、課題を明確にする ことができるように、事 業所内の介護支援専門 員に指導できる	305		失敗したことを振り返 り、課題を明確にする ことができるように、地 域の介護支援専門員に 指導できる	390		(日)専 I - 第1章第2節	
		2 自身の課題に取り 組む	指導を受けながら、自 身の課題に取り組むこ とができる	51		自身の課題に取り組む ことができる	136		自身の課題に充分に取 り組むことができる	221		自身の課題に取り組む ことができるように、事 業所内の介護支援専門 員に指導できる	306		自身の課題に取り組む ことができるように、地 域の介護支援専門員に 指導できる	391		(日)専 I - 第1章第 2節・第3節	
	3 自己 理解	1 自身の感情を理解 する	指導を受けながら、自 身の感情を理解するこ とができる	52		自身の感情を理解する ことができる	137		自身の感情を充分に理 解し、ケアマネジメント 実践することができる	222		自身の感情を理解する ことができるように、事 業所内の介護支援専門 員に指導できる	307		自身の感情を理解する ことができるように、地 域の介護支援専門員に 指導できる	392		(長)実務上-第3章第2 節	
		2 自身の価値観を理 解する	指導を受けながら、自 身の価値観を理解する ことができる	53		自身の価値観を理解す ることができる	138		自身の価値観を充分に 理解し、ケアマネジメン ト実践することができる	223		自身の価値観を理解す ることができるように、 事業所内の介護支援専 門員に指導できる	308		自身の価値観を理解す ることができるように、 地域の介護支援専門員 に指導できる	393		(長)実務上-第3章第2 節	
		3 感情転移・逆転移を 意識する	指導を受けながら、感 情転移・逆転移を意 識することができる	54		感情転移・逆転移を意 識することができる	139		感情転移・逆転移を適 切に意識して、ケアマネ ジメント実践することが できる	224		感情転移・逆転移を意 識できるように、事業 所内の介護支援専門員 に指導できる	309		感情転移・逆転移を意 識できるように、地域 の介護支援専門員に指 導できる	394		(長)実務上-第3章第5 節 ※感情転移～利用者 が援助者に抱く感情 ※逆転移～援助者が 利用者に抱く感情	
		4 多様な価値観の理 解	指導を受けながら、多 様な価値観があること を理解できる	55		多様な価値観があるこ とを理解できる	140		多様な価値観があるこ とを充分に理解して、ケ アマネジメント実践を行 うことができる	225		多様な価値観があるこ との理解を、事業所内 の介護支援専門員に指 導できる	310		多様な価値観があるこ との理解を、地域の介 護支援専門員に指導で きる	395		(長)実務上-第3章第4 節	
	平均点			#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	

静岡県介護支援専門員キャリアラダー（評価表）

氏名:

事業所名:

評価日:

年 月 日

レベル: I・II・III・IV・V

※評価基準 5点(100%できる) 4点(80%以上できる) 3点(60%以上できる) 2点(40%以上できる) 1点(20%以上できる) 0点(20%未満) ※すべての大項目の平均点が3点以上で、そのレベルは到達とします

大項目	中項目	小項目	レベルⅠ		レベルⅡ		レベルⅢ		レベルⅣ		レベルⅤ		出典/用語の定義						
			自己評価	他者評価	自己評価	他者評価	自己評価	他者評価	自己評価	他者評価	自己評価	他者評価							
6 生涯学習・教育力	1 学習課題の発見	1 学習課題の発見についての理解	指導を受けながら、学習課題の発見について考えることができる	56		学習課題の発見について理解し、自身の課題を明確にできる	141		学習課題の発見について理解し、自身の課題への対応を考え実践できる	226		自身の学習課題を発見し、対応できるようになるよう、事業所内の介護支援専門員に指導できる	311		自身の学習課題を明確にし、対応できるようになるよう、地域の介護支援専門員に指導できる	396		(日)専Ⅰ-第1章3節、第7章 (日)主任-第9章(日)	
		2 継続的学習の理解	指導を受けながら継続的学習について理解できる	57		継続的学習について理解し、実践できる	142		継続的学習について理解し、適切に実践できる	227		継続的学習について理解し、事業所内の介護支援専門員に指導できる	312		継続的学習について理解し、地域の介護支援専門員に指導できる	397		(日)専Ⅰ-第1章3節	
	2 基本の反復	1 事例検討の必要性の理解	指導を受けながら事例検討の必要性について理解し参加できる	58		事例検討の必要性を理解し、検討会への参加、事例を出すことができる	143		事例検討必要性を理解し、検討会への参加、事例を出すことができ、実践に生かすことができる	228		事例検討必要性を理解し、(実践にいかすための検討会への参加、事例が出せるよう)事業所内の介護支援専門員に指導ができる	313		事例検討必要性を理解し、(実践にいかすための検討会への参加、事例が出せるよう)地域の介護支援専門員に指導ができる	398		(日)主任-第9章 (日)専Ⅰ-第1章2節 ※事例検討～事例を通してどのように対応すべきかを参加者で考えていく	
		2 事例研究の必要性の理解	指導を受けながら事例研究の必要性について理解し参加できる	59		事例研究の必要性を理解し、個別課題の普遍化、地域課題へつなげることを意識できる	144		個別課題の普遍化から、地域課題を明らかにすることができる	229		地域課題に対して介護支援専門員が果たすべき役割、ネットワーク構築の意義を理解し実践できる	314		地域課題に対して介護支援専門員が果たすべき役割、ネットワーク構築の意義を理解し地域の介護支援専門員に指導できる	399		(日)主任-第9章 ※事例研究～事例検討でもあるかないかなど普遍化した上で、ケアマネジメント共通の原理・原則、地域課題を導き出し、原因や背景、対応策等を検討する	
	3 スーパービジョン	1 スーパービジョンの機能(管理・教育・支持・評価)についての理解	指導を受けながらスーパービジョンの機能について理解できる	60		スーパービジョンの機能について、バイザーとして実践・効果について理解できる	145		スーパービジョンの機能について、バイザーとして実践・効果について十分に理解できる	230		スーパービジョンの機能について、バイザーとして実践・効果について事業所内の介護支援専門員に指導できる	315		スーパービジョンの機能について、バイザーとして実践・効果について理解し、地域の介護支援専門員に指導できる	400		(日)専Ⅰ-第7章2節 主任-第8章	
		2 スーパービジョンの種類と特徴の理解	指導を受けながらスーパービジョンの種類と特徴について理解できる	61		スーパービジョンの種類と特徴についてバイザーとして、理解ができる	146		スーパービジョンの種類と特徴についてバイザーとして、理解ができる	231		スーパービジョンの種類と特徴について理解し、バイザーとして事業所内の介護支援専門員に指導できる	316		スーパービジョンの種類と特徴について理解し、地域の介護支援専門員に指導できる	401		(日)専Ⅰ-第7章2節 主任-第8章	
		3 スーパーバイザー・バイザーの理解	指導を受けながらバイザーとバイザーについて理解できる	62		スーパーバイザー・バイザーについて、バイザーの立場を理解し実践できる	147		スーパーバイザー・バイザーについて、バイザーの立場を理解し実践できる	232		スーパーバイザー・バイザーについて、バイザーとして事業所内の介護支援専門員に指導できる	317		スーパーバイザー・バイザーについて理解し地域の介護支援専門員に指導できる	402		(日)専Ⅰ-第7章2節 主任-第8章	
		4 スーパービジョンの展開	指導を受けながらスーパービジョンの展開を理解できる	63		スーパービジョンの展開を理解し、実践できる	148		スーパービジョンの展開を理解し、適切に実践できる	233		スーパービジョンの展開を理解し、事業所内の介護支援専門員に指導できる	318		スーパービジョンの展開を理解し、地域の介護支援専門員に指導できる	403		(日)専Ⅰ-第7章2節 主任-第8章	
	平均点			#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	

静岡県介護支援専門員キャリアラダー（評価表）

氏名:

事業所名:

評価日:

年 月 日

レベル: I・II・III・IV・V

※評価基準 5点(100%できる) 4点(80%以上できる) 3点(60%以上できる) 2点(40%以上できる) 1点(20%以上できる) 0点(20%未満) ※すべての大項目の平均点が3点以上で、そのレベルは到達とします

大項目	中項目	小項目	レベル I	自己評価	他者評価	レベル II	自己評価	他者評価	レベル III	自己評価	他者評価	レベル IV	自己評価	他者評価	レベル V	自己評価	他者評価	出典/用語の定義
7	1 自立支援	介護保険制度の基本理念における自立支援に資するケアマネジメントの役割の理解	指導を受けながら、介護保険制度の基本理念における自立支援に資するケアマネジメントの役割を理解している	64		介護保険制度の基本理念における自立支援に資するケアマネジメントの役割を理解し、実践できる	149		介護保険制度の基本理念における自立支援に資するケアマネジメントの役割を理解し、適切に実践できる	234		介護保険制度の基本理念における自立支援に資するケアマネジメントの役割について事業所内の介護支援専門員に指導できる	319		介護保険制度の基本理念における自立支援に資するケアマネジメントの役割について地域の介護支援専門員に指導できる	404		(長)実務上-第1章第1節・2節・第2章第1節・4節
		利用者の望む暮らしについての自己決定・自己選択の尊重と支援	指導を受けながら、利用者の望む暮らしについての自己決定・自己選択の尊重と支援が実践できる	65		利用者の望む暮らしについての自己決定・自己選択の尊重と支援が実践できる	150		利用者の望む暮らしについての自己決定・自己選択の尊重と支援が適切に実践できる	235		利用者の望む暮らしについての自己決定・自己選択の尊重と支援について事業所内の介護支援専門員に指導できる	320		利用者の望む暮らしについての自己決定・自己選択の尊重と支援について地域の介護支援専門員に指導できる	405		(長)実務上-第1章第1節・2節・第2章第1節・4節
		自己決定を最大限尊重するための調整機能と代弁機能の理解	指導を受けながら、自己決定を最大限尊重するための調整機能と代弁機能について理解している	66		自己決定を最大限尊重するための調整機能と代弁機能について理解し、実践できる	151		自己決定を最大限尊重するための調整機能と代弁機能について理解し、適切に実践できる	236		自己決定を最大限尊重するための調整機能と代弁機能について理解し、事業所内の介護支援専門員に指導できる	321		自己決定を最大限尊重するための調整機能と代弁機能について、地域の介護支援専門員に指導できる	406		(長)実務上-第1章第1節・2節・第2章第1節・4節
		利用者の意欲・潜在能力・強みを引き出す支援の重要性の理解	指導を受けながら、利用者の意欲・潜在能力・強みを引き出す支援の重要性について理解することができる	67		利用者の意欲・潜在能力・強みを引き出す支援の重要性について理解し、実践できる	152		利用者の意欲・潜在能力・強みを引き出す支援の重要性について理解し、適切に実践できる	237		利用者の意欲・潜在能力・強みを引き出す支援の重要性について事業所内の介護支援専門員に指導できる	322		利用者の意欲・潜在能力・強みを引き出す支援の重要性について地域の介護支援専門員に指導できる	407		(長)実務上-第1章第1節・2節・第2章第1節・4節
	2 職業倫理	1 介護支援専門員としての倫理の理解	指導を受けながら、介護支援専門員に必要な倫理について理解することができる	68		介護支援専門員に必要な倫理について理解することができる	153		介護支援専門員に必要な倫理について充分に理解することができる	238		介護支援専門員に必要な倫理について事業所内の介護支援専門員に指導できる	323		介護支援専門員に必要な倫理について地域の介護支援専門員に指導できる	408		(長)実務上-第4章第1節～第9節
		2 介護支援専門員倫理綱領の理解	指導を受けながら、介護支援専門員倫理綱領について理解することができる	69		介護支援専門員倫理綱領について理解できる	154		介護支援専門員倫理綱領について充分に理解することができる	239		介護支援専門員倫理綱領について事業所内の介護支援専門員に指導できる	324		介護支援専門員倫理綱領について地域の介護支援専門員に指導できる	409		(長)実務上-第4章第1節～第9節
		3 ケアマネジメント業務で起こりうる倫理的課題の理解	指導を受けながら、ケアマネジメント業務で起こりうる倫理的課題について理解することができる	70		ケアマネジメント業務で起こりうる倫理的課題について理解することができる	155		ケアマネジメント業務で起こりうる倫理的課題について充分に理解することができる	240		ケアマネジメント業務で起こりうる倫理的課題について事業所内の介護支援専門員に指導できる	325		ケアマネジメント業務で起こりうる倫理的課題について地域の介護支援専門員に指導できる	410		(長)実務上-第4章第1節～第9節
		4 チームケアを行う際の倫理の必要性の理解	指導を受けながら、チームケアを行う際の倫理の必要性について理解できる	71		チームケアを行う際の倫理の必要性について理解できる	156		チームケアを行う際の倫理の必要性について適切に理解できる	241		チームケアを行う際の倫理の必要性について事業所内の介護支援専門員に指導できる	326		チームケアを行う際の倫理の必要性について地域の介護支援専門員に指導できる	411		(長)実務上-第4章第1節～第9節
	3 使命感・信念形成・タフネス	1 社会的信頼の確立	指導を受けながら、社会に果たす役割を自覚し、社会の信頼を得られるように努力している	72		社会に果たす役割を自覚し、社会の信頼を得られるように努力し、実践できる	157		社会に果たす役割を自覚し、社会の信頼を得られるように十分に努力し、実践できる	242		社会に果たす役割を自覚し、社会の信頼を得られるように努力し、事業所内の介護支援専門員に指導できる	327		社会に果たす役割を自覚し、社会の信頼を得られるように努力し、事業所内の介護支援専門員に指導できる	412		(長)実務上-第4章第1節～第9節 (長)専 I -第4章第1～4節
		2 自分自身も身体的・精神的・社会的に安定し仕事に向かうことができるように努力することの必要性の理解	指導を受けながら、自分自身も身体的・精神的・社会的に安定し仕事に向かうことができるように努力することの必要性を理解できる	73		自分自身も身体的・精神的・社会的に安定し仕事に向かうことができるように努力することの必要性を理解し、実践できる	158		自分自身も身体的・精神的・社会的に安定し仕事に向かうことができるように努力することの必要性を理解し、充分実践できる	243		自分自身も身体的・精神的・社会的に安定し仕事に向かうことができるように努力することの必要性を理解し、事業所内の介護支援専門員に指導できる	328		自分自身も身体的・精神的・社会的に安定し仕事に向かうことができるように努力することの必要性を理解し、地域の介護支援専門員に指導できる	413		(長)実務上-第4章第1節～第9節 (長)専 I -第4章第1～4節 (日)主任第4章第1節～4節
		3 苦情の意義と対応の効果についての理解	指導を受けながら、苦情の意義と対応の効果について理解できる	74		苦情の意義と対応の効果について理解できる	159		苦情の意義と対応の効果について理解し、適切に実践できる	244		苦情の意義と対応の効果について理解し、事業所内の介護支援専門員に指導できる	329		苦情の意義と対応の効果について理解し、地域の介護支援専門員に指導できる	414		(長)専 I -第3章第1節 (日)主任第5章第1節～5節
		4 組織内・地域内の介護支援専門員及び関係事業者等と情報交換・意見をすることにより、介護支援専門員としての信念を形成できることを理解	指導を受けながら、組織内・地域内の介護支援専門員及び関係事業者等と情報交換・意見をすることにより、介護支援専門員としての信念を形成できることを理解している	75		組織内・地域内の介護支援専門員及び関係事業者等と情報交換・意見をすることにより、介護支援専門員としての信念を形成できることを理解している	160		組織内・地域内の介護支援専門員及び関係事業者等と情報交換・意見をすることにより、介護支援専門員としての信念を形成できることを充分理解している	245		組織内・地域内の介護支援専門員及び関係事業者等と情報交換・意見をすることにより、介護支援専門員としての信念を形成できることを事業所内の介護支援専門員に指導できる	330		組織内・地域内の介護支援専門員及び関係事業者等と情報交換・意見をすることにより、介護支援専門員としての信念を形成できることを地域の介護支援専門員に指導できる	415		(長)実務上-第8章第1節～第8節 (長)実務上-第10章第1節～第6節 (長)専 I -第5章第1～3(日)主任第7章第1節～5節
5 利用者の思いを尊重し、それに沿うようなケアマネジメントすることに妥協せず努力することの理解		指導を受けながら、利用者の思いを尊重し、それに沿うようなケアマネジメントすることに妥協せず努力することについて理解している	76		利用者の思いを尊重し、それに沿うようなケアマネジメントすることに妥協せず努力することについて理解している	161		利用者の思いを尊重し、それに沿うようなケアマネジメントすることに妥協せず努力することについて理解し、実践している	246		利用者の思いを尊重し、それに沿うようなケアマネジメントすることに妥協せず努力することについて事業所内の介護支援専門員に指導できる	331		利用者の思いを尊重し、それに沿うようなケアマネジメントすることに妥協せず努力することについて地域の介護支援専門員に指導できる	416		(長)実務上-第2章第1節～第4節 (長)実務上-第4章第1節～第9節	
6 地域資源の開発の必要性についての理解	指導を受けながら、地域資源の開発の必要性についての理解できる	77		地域資源の開発の必要性についての理解し、実践できる	162		地域資源の開発の必要性についての理解し、適切に実践できる	247		地域資源の開発の必要性についての理解し、事業所内の介護支援専門員に指導できる	332		地域資源の開発の必要性についての理解し、地域の介護支援専門員に指導できる	417		(長)実務上-第11章第1節～第5節 (日)主任第6章第1節～4節		
平均点			#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	

静岡県介護支援専門員キャリアラダー(評価表)

氏名: \_\_\_\_\_

事業所名: \_\_\_\_\_

評価日: \_\_\_\_\_

年 月 日

レベル: I・II・III・IV・V

※評価基準 5点(100%できる) 4点(80%以上できる) 3点(60%以上できる) 2点(40%以上できる) 1点(20%以上できる) 0点(20%未満) ※すべての大項目の平均点が3点以上で、そのレベルは到達とします

大項目	中項目	小項目	レベルⅠ		レベルⅡ		レベルⅢ		レベルⅣ		レベルⅤ		出典/用語の定義
			自己評価	他者評価	自己評価	他者評価	自己評価	他者評価	自己評価	他者評価	自己評価	他者評価	
8	1	地域づくりの意義とコミュニティソーシャルワークの基本的な考え方について理解	78		163		248		333		418		(長)実務上一第9章第5節 (日)専I-第3章3節 (日)主任-第6章1節
		コミュニティソーシャルワークの基本的な機能と展開の実践	79		164		249		334		419		(日)専I-第3章3節 (日)主任-第6章1節
	2	地域アセスメントの視点と地域課題の捉え方の理解	80		165		250		335		420		(長)実務上一第9章第5節 (日)専I-第3章3節 (日)主任-第6章2節
		地域アセスメントの視点と地域課題の捉え方の実践	81		166		251		336		421		(長)実務上一第9章第5節 (日)専I-第3章3節 (日)主任-第6章2節
	3	地域のネットワーク作りの目的とその方法の理解	82		167		252		337		422		(長)実務上一第9章第5節 (日)専I-第3章3節 (日)主任-第6章6節
		地域のネットワーク作りの目的とその方法の実践	83		168		253		338		423		(長)実務上一第9章第5節 (日)専I-第3章3節 (日)主任-第6章3節
	4	地域ケア会議における介護支援専門員の役割についての理解	84		169		254		339		424		(長)実務上一第9章第4節 (日)専I-第2章2節3節 (日)専I-第3章4節 (日)主任-第6章4節
		地域ケア会議における介護支援専門員の役割についての実践	85		170		255		340		425		(長)実務上一第9章第4節 (日)専I-第2章2節・3節 (日)専I-第3章4節 (日)主任-第6章4節
平均点			#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####		